



第2分科会
高齢期と社会保障
どうなるこれからの医療・介護

助言者 柴田 泰彦
埼玉県社会保障推進協議会会長

司会 酒井美恵子
記録 景安 悦子



参加者 24名

(助言者からの発言)

私も 65 歳、高齢者です。親の問題です。父が 93 歳、母が 91 歳です。

母は桐ヶ丘団地の診療所で友の会の世話をしてきました。85 歳まで、新座から桐ヶ丘病院まで通っていました。心房細動で不整脈となり、心臓の中で血が固まりますので、ワーファリンという薬を飲んでいました。

もう一つ物忘れがあり、その頃から認知症の症状が出てきました。川口協同病院で診断されました。介護保険の申請をして、母が要介護 1、父も要介護 1 がとれました。階段の手すりの設置、滑り止め、ドアノブの変更、風呂場の改善、居宅介護支援を受けました。36 万円の補助を受けました。

しかし、36 万円では全部できませんでした。新座市は高齢者の所得に応じて居宅事業計画があり、市の建設事業者が行います。そこに依頼しました。母は散歩が日課でした。2 時間ぐらい歩いていました。今年 3 月に母から電話があり、めまいがして嘔吐し、救急車を呼んだがすぐ受け入れ先が見つからず、時間がかかりました。堀の内病院に入院しました。小脳梗塞を起こしたが、歩けるまでになりました。

その後、右脳梗塞を起こしてしまいました。2 か月の入院しかできませんでした。病院と相談をして、介護病院の清瀬しんあい病院に入院しました。入院当初一般病棟で IVH (中心栄養静脈法) を受けたが、そこも 2 か月で退院しなければならなくなりました。

ここで問題になったのは、医療療養型は 2 が月、介護療養型は制限が緩やかだったが、2018 年度に制度改悪し、廃止しました。診療報酬制度を変えれば、何とかなのではないだろうか？

その後、自己紹介を兼ねて、意見交換をしました。

まとめ

○新座市は 18 歳まで医療費無料、特定検診無料、がん検診無料、緊急通報システム無料の制度があります。その他にも役立つ制度がいくつもありますので、大いに活用しましょう。